【別紙様式】

学力向上に効果のある取組事例

佐伯市立松浦小学校

③主体的に学習に取り組む態度の涵養

取組の具体①

〔授業〕

・「松浦小学校　学習の約束7」を意識した授業、お互いに声をかけ合う姿勢

・困りやつまずきを抱えている児童を意識した授業づくり（どんな手立てを講じるか、意図的・必然的なペア・グループ活動をどう仕組むか、身につけたことをどこでどのように見取るか等、授業者がしっかりと意識した授業を組み立てる。）

・人権が尊重される授業づくり（生徒指導3機能を具体的にどう位置づけていくかを意識した授業⇒具現化したものを出し合い、参考にできるようにしている。）

・互見授業等の統一した板書計画（「主体的な課題の設定・深める問いの設定」「困りやつまずきを抱えている児童を意識した授業」を位置づけている。）

・ICTを利用した授業の展開、疑問に思ったこと、課題に対する自分の考えをもつ場面等、ICTを積極的に使い、児童自らが調べたり、まとめたりする授業の展開

取組の具体②

〔授業以外〕

・ニュースペーパー（朝日小学生新聞）を利用して、記事から自分に置き換えて、考えを書いていく活動（毎週金曜日の朝の活動の時間）

・学んだことから伝えたいことを考え、自分たちでその伝え方や表現方法を選び、役割分担等も自分たちで考え、表現する活動を充実させている。

・ICTを使った他校との遠隔授業を行い、自分たちの学びを紹介するとともに、他校のことを知り、学びに生かしてきた。さらに、専門機関や大学等ともつながり、キャリア教育の推進にも力を入れてきた。

・自分たちの生活を自分たちの目で見て、改善していこうとする姿勢（要望をプレゼンを通して、学校へ呼びかける等）

・そうじや人間関係づくりプログラム、話し合い活動等、仲良し班（縦割り班）活動を充実させ、その際、リーダーとして、一人一人の声を吸い上げたり、反映させたり、まとめたりする等、普段の学校生活の中から課題を見いだしたり、対話的な活動を取り入れたりしている。